平成25年度の市の主要施策・予算をお伝えします

住んでよかったと実感できるふるさとへ

4月になり新年度がスタートしました。年度の始めに当たり、平成25年度の主要施策と予算の概要を、総合計画の8つの項目に沿って、市民の皆さんにお伝えします。

3月1日の市議会定例会で、來住壽一市長が施政方針演説を行い、市政運営の基本姿勢と主要施策について所信を述べました。国では、デフレ脱却に向けた大型の経済対策が打ち出されましたが、本市でも緊急経済対策を積極的に活用するとともに、市民の皆さんとの参画と協働によって、本当に住んでよかったと実感できるふるさとづくりを着実に進めていかなければならないと考えています。

▲第38回西脇市議会定例会で来住市長が施政方針を演説

ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち〈健康・子育て・福祉〉

こども医療費の助成

乳幼児等（0歳から小学3年生）に加え、今年7月から、小学4年生から中学3年生まで、通院医療費の自己負担額の全額助成を実施し、通院・入院とも無料となります。

節目年齢の検診無料化

大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診は、節目年齢の無料化を継続実施するとともに、40歳、50歳、60歳、70歳の方を対象とした歯周疾患検診も新たに無料化して受診率の向上を図り、早期発見、早期治療を推進します。

5歳児発達相談

新たに5歳児発達相談事業を実施し、就学前の子どもの成長や発達、集団生活での行動等に不安を持つ保護者への育児支援を行います。

母子自立支援員設置

母子・父子家庭の相談、DV相談については、件数の増加に伴い母子自立支援員を2名体制とし、支援の充実に努めます。

西脇病院

脳血管疾患の救命救急機能や周産期医療の強化に向け、MRI棟の増築など、引き続き医療施設の整備・充実に取り組みます。7対1看護体制の強化や、地域医療支援病院、災害拠点病院など、法令による指定病院としての機能やサービスの充実にも努めます。

茜が丘複合施設

茜が丘複合施設は、子育て支援機能、図書館機能、男女共同参画機能、コミセン機能を合わせた施設として、現在、設計等の作業を進めており、本年度から建設工事に着手します。建設用地の取得には、より有利な国の緊急経済対策の活用を見込んでおり、施設整備についても有利な財源の活用を図りながら、着実に進めていきます。

主要事業の当初予算

こども医療費助成事業	4178万円
未熟児養育医療事業	615万円
歯周疾患健診推進事業	92万円
5歳児発達相談事業	26万円
母子自立支援員設置事業	297万円
障害児学童保育事業	1273円
障害者相談支援事業	951万円
病院会計負担金	10億9290万円
茜が丘複合施設整備事業	2億1241万円

産業が元気！活力とにぎわいあふれるまち〈産業・経済〉

企業誘致の推進

関係機関と連携し企業情報の収集を行うとともに、企業訪問等により優良企業の誘致に引き続き取り組みます。

共通商品券発行支援

西脇市商業連合会発行の「へその街にしわき共通商品券」の利用促進を図るため、プレミア付き商品券の発行を支援します。

小規模事業者の経営基盤強化

地域の経済を支えるものづくり、特に、長引く不況の影響を大きく受けている小規模事業者の経営基盤強化を促進するため、新たに設備投資に対する支援を行います。

▲播州織ファッションショー

北播磨地場産業開発機構支援

北播磨地場産業開発機構が実施する産地活性化のための事業や、地域ブランドの認定を受けた播州織、播州釣針の普及振興事業に引き続き支援を行います。

西脇農業ビジョンの策定

本市の農業の将来あるべき姿を定め、西脇の新たな食と農の方向性を示します。

西脇ファーマーズブランド

市内産の農産物の魅力をさらに高めるため、自然にやさしい安全・安心な農産物を西脇ファーマーズブランドとして認証し、啓発を図ります。

地産地消の推進

学校給食に地元産の米や黒田庄和牛、日本のへそゴマ等を提供することで、児童・生徒が地元食材に関心を持ち、食の大切さや農業の役割、地域の食文化に対する理解を深めるとともに、農産物の生産に関わる人々への感謝の心や郷土愛を育んでいきます。

観光客誘致に向けた取組

来年のNHK大河ドラマが「軍師官兵衛」に決定し、有力視されている「黒田官兵衛の生誕地は黒田庄町黒田」説を自己主張し、観光客誘致に向けた取り組みを進めます。

主要事業の当初予算

企業誘致促進事業	271万円
共通商品券発行事業	250万円
小規模企業等設備投資促進事業	1000万円
北播磨地場産業開発機構支援事業	740万円
西脇農業ビジョン策定事業	254万円
地産地消推進事業	601万円

こころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち〈教育・文化・スポーツ〉

教育環境の整備・充実

双葉小学校の新校舎改築工事を進め、2学期から新教室で授業を開始します。西脇小学校木造校舎は、できる限り現在の外観を維持できるよう、今後の整備方針について具体的な検討を行い、地域や関係者に周知を図ります。校舎棟・体育館が完成した西脇南中学校では、外構工事を行います。

西脇センターと黒田庄センターを統合し改築を進めている学校給食センターは、9月から供用を開始し、おいしく安全で、栄養バランスの取れた学校給食を提供していきます。廃止となる黒田庄センターは、再利用に向けて検討を進めます。

国の緊急経済対策で措置された補正予算を活用し、小中学校全校に空調設備を整備します。重春小学校校舎棟の耐震補強工事も、国の補正予算に併せ、前倒しで実施します。

ふるさと夢・希望創造事業

本市出身の著名人による講演など、子どもたちの夢や希望をはぐくむ「ふるさと夢・希望創造事業」を実施します。

双葉小スクールバスの試行運行

小規模特認校である双葉小で、スクールバスの試行運行を実施します。

地球科学館

今年度から西脇市文化・スポーツ振興財団を指定管理者として、管理運営の効率化を目指します。また、国の緊急経済対策を活用し、空調設備の更新を行います。

岡之山美術館企画展

横尾忠則氏とゆかりのある著名人の企画展開催など、新たな美術館運営を支援します。

主要事業の当初予算

小規模特認校通学スクールバス運行事業	363万円
重春小学校屋内運動場耐震補強実施設計業務	300万円
双葉小学校校舎改築事業	2億184万円
西脇南中学校改築事業	8700万円
学校給食センター整備事業	8億1715万円
青年の家施設整備事業	2100万円
地球科学館施設整備事業	5300万円
岡之山美術館企画展開催補助事業	390万円

暮らしの安全を守り、安心が実感できるまち〈生活安全・安心〉

北はりま消防組合

北はりま消防組合の消防救急デジタル無線の整備、高機能指令センターの整備が進められており、広域化の効果を十分発揮するため、消防・救急体制を向上させるとともに、市民の暮らしの安全を守るための体制づくりを支援します。

西脇市消防団

昼間の消防力強化を図るため機能別団員制度を充実させ、初動体制の確保と団員の技術・資質の向上を図ります。

防災基盤の整備

郷瀬町南部地区の浸水対策工事を早期に完成させ、雨水ポンプ場を5月から本格稼働させます。

引き続き市街地の排水施設の改良を行い、適切な施設管理による事前の浸水対策を、地域と一体となって実施していきます。

加古川激特事業が完了しましたが、その上流域の加古川、杉原川、野間川で未整備区間が残っています。現在策定中である県の加古川中流圏域河川整備計画に基づき、これらの河川整備が円滑に促進されるよう支援していきます。

県の急傾斜地崩壊対策事業では、羽安町の工事が5月に完了予定であり、引き続き上王子町の工事が実施されます。

災害時の生活用水確保

災害時の生活用水確保のため、災害時協力井戸登録制度を開始します。

消費者行政

多可町との相談窓口の相互利用を引き続き実施します。

▲消防ポンプ自動車

主要事業の当初予算

- 北はりま消防組合負担金事業　4億7582万円
- 消防自動車更新等事業　1737万円
- 急傾斜地崩壊対策事業　150万円
- 防災行政無線管理運営事業　534万円
- 消費者対策事業　218万円

快適な暮らしを支える生活基盤が充実したまち〈都市基盤・生活環境〉

国道427号西脇道路

都市計画変更が可決され、平成26年度の事業着手に向け県と協議しながら取り組みます。

交通安全施設整備

通学生の安全確保のため取り組んできた西脇高校周辺の市道野村12号線の歩道新設工事を引き続き実施するとともに、その他の通学路についても、全国での相次ぐ事故を受け点検・改修を実施してきたところであり、引き続き安全対策を推進していきます。

西脇市駅周辺整備

駅西広場と県道からのアクセス道路の都市計画決定を行い、平成26年度からの事業着手を目指します。

水道事業

浄水施設の整備を充実させるため上戸田高度浄水施設の建設に着手し、平成26年度末の完成を目指すとともに、童子山配水池も新浄水場の完成に併せ、平成26年度末の廃止を目指し配水区域の変更を行います。

下水道事業

効率的な生活排水処理のため、施設の機能強化を行うとともに、黒田庄町畑瀬処理区の黒田庄中部処理区への統合を行っていきます。

主要事業の当初予算

- 広域道路ネットワーク事業　5098万円
- 西脇市駅周辺整備事業　1006万円
- 住宅耐震化促進事業　350万円
- コミュニティプラント整備事業　1600万円

持続可能な循環型社会を築き、人と自然が共生するまち〈自然・環境共生〉

環境対策

環境基本計画に基づき、西脇市環境づくり推進会議を設置し、市民、事業者、市が連携、協働して、水・緑・生物などの多様な生態系を育むまちづくりや、うちエコ診断の促進等を図り、環境を守り育てるまちづくりに取り組みます。

太陽光発電システム設置

住宅用太陽光発電システム普及促進事業を引き続き実施し、太陽光の活用を促進するとともに、市内業者の受注拡大も図ります。

主要事業の当初予算

- 西脇市環境づくり推進事業　38万円
- 住宅用太陽光発電システム普及促進事業　500万円
- 緑のカーテン大作戦　22万円

多様な主体による地域自治が確立したまち〈地域自治〉

自治基本条例

条例の理念を定着させるため、市民の皆さんへの周知を図るとともに、関係条例等の整備や地域自治組織の在り方についての検討、調整を進めます。

▲頼政祭

「土の活動」を支援

地区まちづくり実践補助事業では、各地区がまちづくり計画に基づいて主体的に行う地区の課題解決に向けた取り組みや、地域資源を生かした特色ある活動、地域の活性化に向けた取り組みなど、いわゆる「土の活動」に対し引き続き支援を行います。

「風の活動」を支援

市民提案型まちづくり事業では、自発的な公益活動、いわゆる「風の活動」を行う市民グループや団体に対して引き続き支援を行い、活動の舞台を整えていきます。

市ホームページの充実

1月にリニューアルした市のホームページは、内容を更に充実するとともに、フェイスブックやメール配信サービスも活用し、情報の発信強化に努めます。

主要事業の当初予算

- 自治基本条例推進事業　16万円
- 地区からのまちづくり事業　1000万円
- 市民提案型まちづくり事業　302万円

時代に対応した行政経営が確立したまち〈行政経営〉

未収金対策

支払督促をはじめ滞納対策に厳正かつ積極的に取り組み、財源の確保を図っていきます。

広域連携

北はりま定住自立圏共生ビジョンに基づき多可町と連携し、地域医療や観光交流など各分野で積極的な事業展開と情報発信を行っていきます。

窓口サービスの向上

住民票の写し等の不正請求を抑止するとともに、不正取得による個人の権利の侵害を防止するため、「本人通知制度」を創設します。

主要事業の当初予算

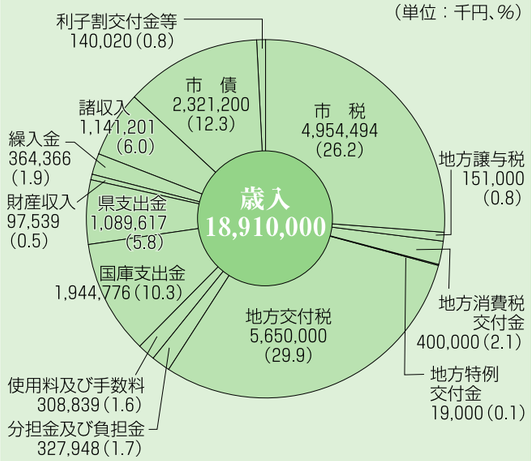
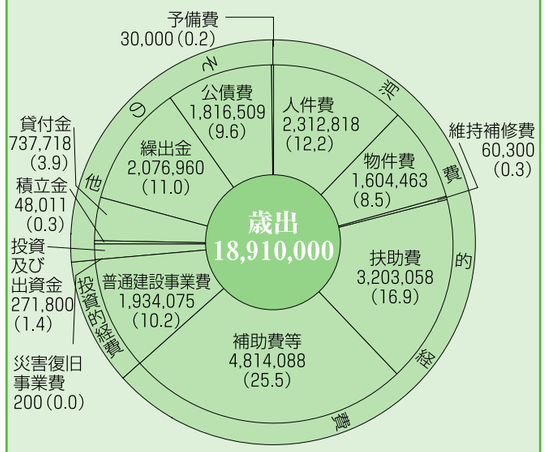
- 定住自立圏構想推進事業　34万円
- 戸籍システム改修事業　630万円

平成25年度当初予算の概要

一般会計は、予算規模は昨年比で8.4％の減となりましたが、緊急経済対策として打ち出された国の補正予算により、平成24年度補正予算で計上した重春小学校の耐震化事業、小学校・中学校への空調機設置事業などの事業費約6億8千万円と、茜が丘複合施設整備事業、企業会計なども含めると約22億2千万円の国庫補助事業採択を見込んでいます。

こども医療費の無料化、双葉小学校や学校給食センターの建設事業など、子育てや教育施策に重点を置いた積極的な予算としました。

一般会計	189億1,000万円
特別会計	108億8,687万円
企業会計	140億6,349万円
合　　計	438億6,036万万円

一般会計当初予算の構成

（単位：千円、％）